

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 6月21日更新

事務事業名	地域と市長ふれあいミーティング(市政座談会事業)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	政策部	課長名 工藤 一伸
	施策	14	市民参画によるまちづくりの推進		所属課	政策課	担当者名 山隈 和徳
	施策の柱	41	地域づくり(まちづくり)人材の育成		所属班	秘書班	(内線) 1232
予算科目	会計一般	地域	項	目	事業連番	根拠法令	成果優先度評価結果 : ②
		2	1	1	10332		コスト削減優先度評価結果 : ①
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・市長等が地域へ向向き、市民との意見交換を行うことにより、地域のことを知ることができるとともに、市民にも市の情報を提供し理解していただく機会として、市民との信頼関係を築き、よりよいまちづくりにつなげる。 ・合併した平成18年度から開始している。当初は市内の各コミュニティ施設において、日程やテーマを決め、市民に周知を図り参加をってもらう方法であった。平成22年度からは、手法を変更し、各地区からの要望に応える形式で日程等を各地区に合わせ「地域と市長ふれあいミーティング」を実施。この手法により、テーマに基づいた市長と地域住民の活発な議論が展開されている。 ・平成27年度は2所の実施。
【業務の流れ】	<small>【地域と市長ふれあいミーティング】</small> <small>①各自治会から開催申請書が出される。</small> <small>②市のマニフェストや政策に基づき、自治会へ連絡し日程等を決定する。</small> <small>③市民の出発等を調整する。「出席者が部長級1名、課長級1名、記録等1名」</small> <small>④市民が定時参加の場を確保する。</small> <small>⑤開催後、記録のまとめ(要旨、質問事項の取りまとめ)</small> <small>⑥関係部署へ送付する(事務局、秘書、関係課長等へ照会を行う)。</small> <small>⑦市民参加の場。</small> <small>⑧市長への周知。</small> <small>⑨資料の作成。</small>
【主な予算費目】	[款]2総務費 [項]1総務管理費 [目]1一般管理費 [節]3時間外勤務手当
【意見や要望】	<ul style="list-style-type: none"> ・市の状況についてパワーポイントを使い、市全体と併せてその地域の実態を説明しているためわかりやすいとの意見がある。 ・自治会の実情に合わせて日程やテーマを決め実施しているので、参加しやすいとの意見がある。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	各地区からの希望日時に合わせ、地域に向いて直接語り合う「地域と市長ふれあいミーティング」を実施した。(実施地区2箇所、中林区8/8・南陽区9/27)	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 「地域と市長ふれあいミーティング」の継続実施。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 → ア:ふれあいミーティング実施件数 イ:	予算の主な増減の理由 時間外勤務手当の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア:人口 人 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	まちづくりへ関心をもち、自分たちの地域は自分たちで良くしていこうという意識づけができる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア:参加者数 人 イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
・申し込みのあった行政区の数や参加者数、出された意見などを成果としたが、平成22年度から手法を変更したため開催件数から「参加者数」へと変更した。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込
①活動指標	ア:回 イ:		2	4	4	2	4	4	4	4
②対象指標	ア:人 イ:		58,237	59,067	59,200	60,008	60,100	60,900	61,500	62,000
③成果指標	ア:人 イ:		47	100	100	40	100	100	100	100
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	千円	0	27	45	18	44	42	42	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	27	45	18	44	42	42
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	27	45	18	44	42	42	42	
人件費	正規職員従事人数	人	9	11	10	2	10	10	10	10
	延べ業務時間	時間	1,565	148	40	15	40	40	0	0
(B)人件費計	千円	6,234	589	159	55	159	159	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,234	616	204	73	203	201	42	0	

事務事業名	地域と市長ふれあいミーティング(市政座談会事業)	所属部	政策部	所属課	政策課
-------	--------------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 本年度は●ヶ所の実施であったが、各会場の参加者が多かったため目標を達成した。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 平成28年度も「地域と市長ふれあいミーティング」は継続しつつ、これまで1度も実施していない行政区に対して働きかける。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・より多くの地域で地域と市長ふれあいミーティングを開催していただけるよう区長会等で周知を図る。また、ふれあいミーティングの進行は各自治会において行うが、できるだけ、意見や提案を出しやすい雰囲気作りなどの工夫も必要だと考える。 ・「市民座談会」については、市民への周知の徹底を図る。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・事業費は、担当職員の時間外勤務手当のみであり、市民が参加しやすい時間帯を考えると、必要最小限の経費であり、削減することはできない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・このような直接行政と市民とが対話をする機会は必要であり、今後はこの事業に費やす時間は必要と考える。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・全市民を対象としているため特定の受益者に偏ってはいない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 自治基本条例の基本理念に基づくものであり、当然市が中心となって行うべき事業である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

<p>・市民へ広く市の情報を提供し、市政運営を市民と協働で進めるため、市長が地域へ出向き、市民との意見交換を行うことは今後も必要であるとする。併せて、市が設定した日程やテーマに市民が参加をするという当初の方法も実施し、より多くの市民が身近に参加できるよう、やり方を工夫していく必要があると考える。</p>
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) </p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						